

(3) 資料

ア 児童生徒の作文

高等部3年 S・H(女)

私は、今回の地震では、びっくりしました。でも家がこわれたことは、本当にさびしいです。家がなくなったあとは、近くの門口公園でテントをはって生活しました。毎日がつめたいごはんと缶詰ばかりでした。私は、今回の地震でびっくりしたけどそれ以上にこわかったです。テントでの生活は、とってもさむかったです。缶詰ばかりで食中毒になってしまいました。だから、テント暮らしにはもうなりたくありません。門口公園でテント暮らしをする前は、私たちの家の前のガレージでテントをはって近所の人々と一緒に生活をしていました。

門口公園では、ボランティアのお兄さんやお姉さんがいて毎日がとても楽しかったです。だから門口公園をはなれるときは、とてもさびしかったです。でも、今でも時々前の家の近くまで行くと、ときどきお兄さんやお姉さんに会えます。

お兄さんやお姉さんとは、友達になりました。お姉さんとは、文通を一緒にしようかということになったのですが、あれからもうだいぶたっているのに、ぜんぜん書いていません。でもいつかきつと書こうと思っています。

私は、家族5人全員助かっただけでもきせきなんだから、死んだ人たちのためにも私たちが、死んだ人たちの分もがんばらないといけないと思います。

今は、私たち家族5人は、私の学校に避難しています。その学校の名前は、神戸養護学校です。

私の弟2人は、今回の地震で生き埋めになっていました。近所の人々が助けてくれました。

私は、弟たちがいなくなったら困ります。私一人じゃ寂しくてしょうがないです。

助かって本当によかったです。私は、ときどき弟たちがにくたらしいけど、私にとっては可愛い弟たちです。私と弟たちは、よくけんかをするけどすぐ仲直りします。

私は三人兄弟です。もし、弟たちが助かっていなかったら私、学校をずうと休んでいたかもしれません。最後の一年ぐらいは、あとでこうかいしないように一生懸命にがんばっていきたいです。これから、いろいろ大変だけど、私は、長女としてお父さんやお母さんを助けてあげたいです。私は、いろいろやらないといけないから、今年は忙しくなりそうな気がします。私は、お父さんもお母さんも大好きです。豊も研二も大好きです。

今回の地震で、一番災害が大きかったのは、東灘区ですが、みんなは、自分ところだけがひどかったといっている人たちもいます。長田区が二番です。助かっただけでも良かったのに、死んだ人たちは、かわいそうだとゆうのに、そんな人たちをみたら文句いってやりたいぐらいです。

私のお母さんの友達で、家が地震で火事になってしまった人とは、まだ今だにあっていません。だから心配です。死んでいるのか、どこかで生きていてほしいとおもっています。私は、死ぬのはこわいです。お母さんの友達のことが気になります。

私は、中学の時の友達ともあっていません。その子も生きていてほしいです。中学のとき一番仲のよかった親友です。名前は、井上みきという女の子です。私より一つ年下です。もう一人の仲よしは生きていました。ついこのあいだあってきました。久しぶりで親友とあえるとは思わなかったからとてもうれしかったです。

私は、お母さんの友達や中学の友達のことが心配です。

私は、神戸の街が大好きです、一日も早く、元の街にもどると信じています。

いつか、また、大きな地震があるといっている人あるけどこなくていいです。もうこんなことになってほしくありません。また、知っている人が死んだらとても悲しいから、もう絶対イヤです。私は、もう家がないけど、でも、みんなのことがすごく心配です。一日も早く元どおりになることを祈っています。

高等部2年 K・N (男)

地震の朝、僕はもう少しで下敷きになりかけたが、その後みんなで外へ逃げて、全員無事でよかった。それから昼は公園で昼食を食べて、その後公園で4泊5日過ごしました。二十一日、夕方から兵庫大開小学校で避難している。水道がでてとてもよかった。小中学校の自衛隊で作った温泉はとてもめずらしかった。それから、朝テレビを見てみると、高速道路がつぶれていた。神鉄湊川と長田の間もつぶれて、運転再開まで6か月かかるみこみです。2月7日から運転再開して、僕は学校に行けた。それから何日かぶりに地震があって、とてもびっくりした。

高等部2年 M・S (男)

地震の朝、5時30分におきようとするといきなりおもいがけず地震がきました。天井からいろんなものがおちてきたりして、おきることもできなかつたです。くるしくて顔が赤くなりました。そしてけいさつの人8人がきてくれてたすかりました。そのとき、きんじょの人みんながしんぱいしてくれて「がんばりよ。お母さんもたすかったから」といってくれてとてもうれしかったです。お父さんはしごとで家にいなかったです。そのあと、きんじょの人の車で、病院まではこんでくれてとてもうれしかったです。

高等部2年 M・S (女)

地震の朝、ゆれた時、家がつぶれて死ぬかと思いました。私とお母さんは、あわてて下におりて行きました。お父さんは「おい、だいじょうぶか」と言っていました。

あまりのこわさで、家族は何もしないでテレビを見ているだけでした。その日の夜はこわかったのでテレビと電気をつけて寝ました。明るかったので安心してねむれました。うれしかったのは、4時間後にテレビと電気がついたことです。二度とこんなこわいけいけんをしたくはありません。早くふつうの生活にもどったらいいのになあと思います。

高等部2年 K・M (男)

僕の家は、午前5時46分から二階の部屋の電気が急に暗くなってきて、テレビとビデオと水道と風呂の湯もでなくなりました。家の柱が少しつぶれていたのので、全員外にでていました。1月17日から塚本西公園のテントの中で寝ました。そのあと、1月21日から兵庫大開小学校の避難生活で、教室でとまったり、男湯のテントの中で、お風呂に入ったりしました。車が少しつぶれたり、落ちたりしていました。地震は、本当にこわかったです。風呂の門と1階の電気が少しこわれてしまいました。友達の家が全焼になっていました。荷物は靴下やシャツとはだぎだけだったそうです。今、仮設西代住宅へ入っています。僕がいる3階の教室の電気はきています。

高等部2年 K・N (女)

朝ドスンと大きな音がして、目がさめました。私は何か物が落ちたのかなと思っていました。すると父さんが「地しんだ」と云って、私をベッドから起こし、机の中にひっばって行きました。ゆれている時は、こわくてじっとしていました。少し小さなゆれになったので、ガウンを着て外に出ました。近くの人達がたくさん出て来ました。とてもこわかったです。家に入りベッドのへやに行くと、父さんのベッドの上にタンスがたおれていました。その日から水もガスも出ないので、母さんは昔の火ばちを出したりして、いろいろ工夫して料理を作ってくれました。また遠い所のおふろに行ったり、いろんなことをけいけんしました。テレビで多くの家がたおれているのを見ました。でも私の家はたおれなくてよかったです。私はいつも母さんに何ごとも早くできるようにしなさいと云われていますが、今度の地しんで本当だなと思いました。

これからも愛と勇気と希望でがんばっていこうと思います。

イ 家庭訪問記録

(1) 職員出張一覧表

日・曜	訪問生徒数	施設等	出張職員数	備考
17 火		1	1	県教育委員会災害報告など
18 水	4		2	夢野小学校・夢野台高等学校
19 木	16		15	渡川中学校・長田高校・長田区役所 兵庫勤労区民センター・丸山中学
20 金	(1) 5		4	夢野台高校・丸山中学・夢野小学校
21 土	8		7	大黒小学校
23 月	20	8	16	福祉病院・門口公園・勤労市民センター 夢野小・夢野台高・丸中・職員打合せ
24 火	14	6	23	長田区役所・スクールバス委員会 入試事務打合せ
25 水	27		16	職員会議
26 木	29	2	35	門口公園・勤労市民センター・夢野台高 夢野台中学・夢野小学校
27 金	9	3	19	鳥越君の葬儀・入試小委員会
28 土	2		2	
30 月	17	4	19	丸山中学
31 火	7		4	学校再開
1 水	10		8	夢野中学・アミニティホーム夢野に 分教室開設
2 木	5		4	
3 金	5		3	
4 土	2		2	
6 月	7	2	5	
7 火	2		2	
8 水	2		2	
9 木	3		5	
10 金	5		6	

地域臨時教室、開放学級	期 間	出張職員数
神戸市立夢野中学校	2月2日～13日	延べ人数 53名
アミニティ夢野	2月2日～9日	延べ人数 11名
おかば学園	1月24日～30日	延べ人数 37名
上野丘学園	1月24日～30日	延べ人数 10名

- ウ 出張復命書抜粋【(長)(兵)(北)は、それぞれ長田区、兵庫区、北区居住を表す】
- 19日 ○ マンションは倒壊していないが家具散乱。家族全員無事。父親は尼崎の実家から通勤予定。母親と本人は堺の実家に避難し、ライフラインが復旧した時点で家に戻り登校の方向で考える。(兵)
- 地下鉄板宿駅から徒歩、神楽小学校へ。長田区役所へ避難しているとり情報で区役所へ。家族全員で垂水方面の親戚宅へ避難すること。食料などを渡す。(長)
- 21日 ○ 家は一部損壊。地震当日、怯え、奇声など出たようだが現在は両親とともに落ち着いて体調も良好。外に出るときは危険なので注意している。(兵)
- 本人宅は無事だが北側の家が半壊で無人なため心配している。学校に避難希望。通学はスクールバス次第。(兵)
- 23日 ○ 避難しているチサンホテル・ビルの1階で、倒壊が心配。(母親は大丈夫というが)父親は、自治会の世話で走り回り、親子二人で寂しい。食べ物、水などは父親が運搬してくるので大丈夫。登校はスクールバス次第。(兵)
- 地震直後2日ぐらいは食物が口に入らなかった。今は元気。被害は水道管の水漏れのみ。電気、ガス、水道使用可。登校可能。(北)
- 地震直後、親が避難させようとしたが動かなかった。今後パニック状態になったときの行動に不安。交通の回復を待って登校させる。自宅の被害はないが、ライフラインストップ。(兵)
- 24日 ○ 自宅は屋根が壊れて住めない状態。家族、親戚無事。地震後の発作は一回のみで、特に変化は見られない。しばらく現在の(母の実弟)避難先にとまる予定。紙おむつが手に入りにくい。(長)
- 神戸から親戚がおしかけて、本人の運動をさせる事が困難。体力維持のため、本人を連れて、近くの公園で徒歩訓練。
- 体調を崩し、食欲もないようだった。電車の本、パズル等を渡すと笑顔を見せ、大きな声も出るようになった。電気ポットが使えるようになったことで、温かい食べ物が食べられると喜んでいた。交通機関、体調、生活の安定のメドが立たないので、通学は出来ない。(兵)
- 25日 ○ 家屋の損傷なく、家族も無事で、普通通りの生活。本人も元気。ほとんど外出せず、ゲーム・パソコンをしている様子。余震のあるときは「怖い」と訴える。母親から、M君への救援物資(肌着、ズボン等)を預かる。(北)
- 家具がかなり倒れたが、住居そのものは大きな被害はなく、水道、ガスも使える。震災後3日間、親戚宅に行っていたが、現在自宅に戻っている。健康状態は良い。(北)
- マンションの西側階段が使用不可。電気。ガス、水道とも使え普通生活ができています。本人も以前より顔色がよく元気そう。地震の恐怖から開放され

- ている。学校に避難している家族に、風呂の提供を申し出る。登校可。(北)
- 自宅のフトンの中から出てこようとしない。かぜくすりとドライシャンプーを渡す。(兵)
- 26日 ○ 全壊。弟が下敷きだったが、病院で手当てを受けて大丈夫。テント生活であるが本人は元気そうで、早く学校に行きたいとのこと。食事は、配給でまず大丈夫。懐中電灯の電池が必要。時間がどれぐらいかかるか不明だが、通学できる。今後の居住地のメドが立たない。(兵)
- 家には親類が避難してきており、今のところ水汲みおわれている。本人は、母親が忙しいので要求不満気味。お風呂が大好きなのでイライラしている。よその家に、入浴に一回行ったが、自宅の風呂でないと満足しない。父親が近くの池の水を汲んできて沸かす予定。ガスはプロパンガス名なのでOK。
(兵) …担任団が学校からポリタンク数個に水をくんで届けた…
- 27日 ○ 前日依頼された物資を届ける。(牛乳、ソーセージ、缶詰、インスタント味噌汁、卵等) 弟がかぜで母親が身動きできず、本児はずっと家にいてストレスがかなりたまっていた。親戚も、仕事の整理おわれ、本児まで手が回らない様子。本児のストレス発散のため、新開地方面に散歩。今後の支援方法について母親と話す。水道、ガスがでない。
- 28日 ○ 病院から父の社宅へ移ったとの連絡あり。住所が分からないため、王塚台の団地を一軒づつさがし、移転先を確認。本人は熱を出していたが元気な様子。薬差し入れ。ガス、水道とも大丈夫。登校については、交通機関を検討し、担任と話し合う必要あり。(兵)
- 一家は大開小学校に避難しているが、当日両親は自宅で作業中とのこと。自宅訪問。家屋は大きな被害はなく、落ち着けば居住可能。避難先の小学校からの登校について協議。家庭の状況が許せば、前日に電話して貰い、翌日から本校職員が引率する事を協議。(兵)
- 31日 ○ 風邪でずっと寝ていたが、やっと起きられるようになり、少しずつ元気が出てきたがまだ声が出ない。母親の風邪も良くなってきている。朝頼まれた食料を手渡す。落ち着いたら学校に車で行きたい。(長)
- 1日 ○ 本児は震災後、発作も一回しか起こっておらず、見た目もしっかりしていた。丁度、食事中で食事介助をしたがしっかり食べた。その間に母親は、区役所にいってきておしめ、発作の薬を貰う事ができた。登校については、神鉄が動きだしてから考える。水を届ける。(長)
- 復旧の、見通しは家族が落ち着いていないのでたっていない。本人は元気だが、左足脛を打っていて痛そうだった。両親は、精神的、肉体的疲労が溜まっている様子。臨時教室にも、送迎は不可。簡単な宿題を出して帰るが、4日に一回程度訪問して、様子を見ると同時に、数言葉の宿題を出していき

たい。(兵)

- 2日 ○ 家は検査の結果生活をしてよいという事だが、夜は父親の実家で寝て、朝家に帰ってきている状態。本人は元気で自宅付近を散歩したが、小走りでのしように歩いていた。登校については、小さな弟妹がおり、満員の電車に乗ってスクールバスのバス停までの送り迎えは困難。(北)
- 4日 ○ 風邪は一応治ったが本調子ではない。朝食後散歩、アスレチックで遊ぶ。母親はその間に親戚宅に入浴へ。2月6日から弟の保育所が再開。2月13日から登校したいと考えている。マイカーもしくはひよどり越小のスクールバス停から。(長)
- 本児が発熱していたので、避難所の救護所につれていき、診察を受け薬を貰ってくる。祖母、母親のストレスも溜まる一方で、どちらもカウンセリングが必要。本児も遊べないので、体調をみて外に連れだし発散させる必要あり。(長)
- 6日 ○ 発作もなく元気だか風邪気味。食欲はなくパンのみ食べる。仮設住宅に申し込んでいる。電車が通っても乗れる状態でないので、通学は無理。バス停が菊水10丁目当たりまで来れば考えてもよい。水が出ないため大変である。区役所、たんぼぼの家などの応援を頼んではとアドバイスをする。(長)
- 2月7日から長田～鈴蘭台間が再開するという情報で、通学方法について打ち合わせた。現在の避難所から神鉄長田駅まで母親の引率、長田駅からは本校教師が引率で登校する。(兵)
- 8日 ○ 近くの公園へ弟も一緒に散歩。元気一杯でもっと歩きたそう。スクールバス停(ひよどり台)までの送迎は無理。当面は家庭訪問を希望。水道が復旧した時点で自宅に戻り、菊水10丁目のバス停から乗りたい。2月13日、弟も一緒に登校予定。(長)
- 9日 ○ 父が非番だったが所用で会えず。祖母は無理がたり、体調を崩して寝込んでいる。午前・午後小学校のブランコや滑り台で遊ぶ。食事が偏っているので、昼は教師の弁当を分け与える。昨日買い物に行き、母親が手を離れたすきに迷子になったとのこと。くれぐれも注意するように念を押す。排便の前兆あり、トイレに連れていき成功。(長)
- 登校できないため、体力を持て余している。近くの高取山へ徒歩訓練に行く。元気に頂上まで上がる。(長)
- 10日 ○ 両親に面談して被災状況、現在の生活状態について聴取する。通学方法について両親及び本人と協議し、通学経路、安全措置について決定し、14日より自力通学。(西区)

エ 家庭訪問内容の推移

ア 安否確認の時期

17, 18 日の両日の出張数が少ないのは、出校できた職員の数も少なかったが、それ以上に児童生徒及び職員の安否確認のための電話や通報の受諾におおわらわであり、校内、校外の破損箇所の点検、安全確認に追われていた。また、学校に出てこれない職員は、自宅近辺の児童生徒宅へと、自主的に訪問し、学校に報告してきた。幸い、18日には児童生徒の安否確認ができ2・3の職員の所在が不明という事であった。学校は当分休校という措置になった。

イ 生活状況把握の時期

すべての児童生徒のおかれている状況を把握するため、組、学部の枠を越えて、避難所巡り、自宅、親戚宅などを訪問。交通機関が途絶えていることもあって徒歩、自転車、単車と普段利用していない交通手段に頼った。この時期は、子供達に巡り会い、保護者と話して無事である事のありがたさを実感した時期でもある。

ウ 物資、時間の援助の時期

被災地の悲惨な様子、食料品を始め生活物資の不足、特に水のない生活の不便さをつぶさに見て、校内に物資補給基地を作り、子ども達のところに搬入し、また、目を離せない子ども達を数時間預かり遊ばすことで保護者の生活時間を作り出していった。
(教職員の義援金と現物提供及び全国からの支援物資)

エ 学校開放・岡場学園開放の時期

余り被害を受けていない地域の児童生徒には、学校を開放して、時間を設定し保護者の送り迎えの下に、幾人かの教師で児童生徒の面倒を（出来るだけ通常の学校生活に近い場面設定に心を砕く）見た。また交通機関がうまく機能していないので、学校に來れない児童生徒のため、岡場学園のご好意により、岡場学園教室を開き、教師が教材を携えて、出向いて行った。

オ 児童生徒・保護者とのふれあいの時期

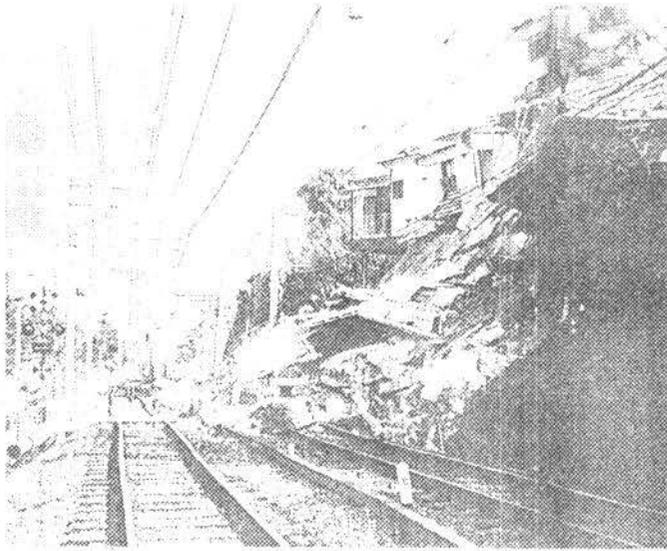
最初の混乱した数日後は、障害を持つ家庭を一番理解できる立場である教職員は、生活物資の運搬だけでなく、保護者を力づけ、生活のアドバイスをし、子ども達に寄り添う事でこの重大な危機を乗り切った。それについては、被害の少なかった地域に住む児童生徒と保護者に助けられ、励まされたことが、大きな力となった。保護者の皆様の物心両面での援助や連携プレイは心強いものであった。

カ 学校再開にむけて

後者の安全点検がすみ、暖房もできるとの見通しの立った時点で、何時学校を再開するかの論議になり、児童生徒の通学経路につき、方法と安全の確認、通学に関し保護者と教師の守備範囲についての協議、通学ボランティアの要請、スクールバスの運行経路・運行にかかる時間・バス乗降児童生徒の人数など点検、実際に再開するため確認を実施。

キ 登校不可能な児童生徒の訪問の時期（学校再開・臨時教室開始）

本校に通学する上で主要な交通機関である神鉄が全面開通していないためと市バスの混乱と混雑のため、通学できない児童生徒に対しての家庭訪問、臨時教室（2か所）への出向、登校してくる生徒の通学指導・付き添いに、また、学校に避難した家族（3家族・13人）の手助けに従事した。保護者も教職員も日常生活のままならない中で、風邪がはやり、毎日長時間の労働で肉体的疲労はピークに達していたように思われるが、高揚した精神力に支えられて、多くのことができた。



神戸電鉄会下山路切付近

崖崩れにより上の民家が線路上に崩れ落ちた。

J R新長田駅から南の阪神高速道路の広範囲が地震後に発生した火災で焼失した。



地域臨時教室

【阪神・淡路大震災被災地域在宅児童生徒対象】

期 間	平成7年2月2日(木)～13日(月)	平成7年2月2日(木)～7日(火)
場 所	神戸市立夢野中学校 〔なかよし学級教室及び会議室〕 神戸市兵庫区熊野町5-55 ☎511-5555	アメニティホーム夢野 〔作業室〕 神戸市兵庫区夢野町4-15 ☎511-3347
時 間	9:30～11:30	9:30～11:30
対象者	中学部1年 M. R (長田区) " 2年 S. H (兵庫区) " 3年 H. J (") 高等部3年 T. T (") " " M. K (長田区) " " M. H (") " " O. J (兵庫区) " " H. T (長田区) " " H. K (") " " I. M (兵庫区)	高等部1年 M. K (兵庫区) " 2年 T. M (") " " Y. Y (") " " I. H (長田区)
指導者	5～6名	2名
内 容	はし紙入れ実習、給水車からの水運び 等	

児童生徒出欠状況

平成7年1月24日(火)～3月1日(水)

兵庫県立神戸養護学校

臨時休業期間中(1/17~1/30)

開放学級期間(1/24~1/30) 開設場所：兵庫県立神戸養護学校、上野丘学園、おかば学園

	1/24(火)	1/25(木)	1/26(木)	1/27(金)	1/30(月)
神戸養護学校	家庭訪問実施	家庭訪問実施	19/22	27/34	29/34
上野丘学園	6/6(6/7)	6/6(6/7)	7/7	7/7	8/8
おかば学園	4/4(4/7)	4/4(4/7)	6/7	18/23	21/24
計	10/10	10/10	32/36	52/64	58/66

学校再開以後(1/31~)

地域教室併設期間(1/31~2/13) 開設場所：兵庫県立神戸養護学校、神戸夢野中学校、アムニティホーム夢野

	1/31(火)	2/1(木)	2/2(木)	2/3(金)	2/4(土)	2/6(月)	2/7(火)	2/8(木)	2/9(木)	2/10(金)	2/13(月)
神戸養護学校	92/143	89/143	92/129	87/129	87/129	99/129	95/129	100/131	104/131	108/131	108/131
夢野中学校	---	---	9/10	8/10	8/10	9/10	10/11	11/11	10/11	11/11	10/11
アムニティホーム夢野	---	---	3/4	3/4	3/4	2/4	2/3	---	---	---	---
計	92/143	89/143	104/143	110/143	98/143	110/143	107/143	111/142	114/142	119/142	118/142

本校一本化以降(2/14~)

	2/14(火)	2/15(木)	2/16(木)	2/17(金)	2/18(土)	2/20(月)	2/21(火)	2/22(木)	2/23(木)	2/24(金)	2/25(土)
神戸養護学校	120/142	119/142	119/142	118/142	114/142	125/142	123/142	121/143	130/143	133/144	122/144

	2/27(月)	2/28(火)	3/1(木)							
神戸養護学校	118/144	122/144	120/144							

エ 児童生徒の転出入及び在籍者数

児童生徒転入転出表

兵庫県立神戸養護学校

現学年

《平成7年3月15日(水)現在》

転入

転出

日付	単重	学年	氏名	転入校	備考	日付	単重	学年	氏名	転出校	備考
1/31		高1	T. Y	K大学H学部附属養護学校	○学園入所	2/7		高2	T. T	○市立S養護学校	
1/31		高1	T. H	K市立S養護学校	○学園入所	2/20		小3	T. M	A市立S小学校	(1/31K市立S小学校より転入)
2/13		中1	H. T	K市立E中学校	S学園入所	3/3		小5	T. I	K市立S養護学校	(1/31K市立S養護学校より転入)
2/18		中2	K. S	K市立S養護学校	S学園入所	3/3		高3	I. A	K市立S養護学校	
						3/14		中3	K. K	K市立K中学校	(2/20K市立K中学校より転入)
						3/15		小6	N. K	K市立N小学校	(2/24K市立N小学校より転入)

-55-

在籍者数 (3月15日 現在)

学部・学年		小学部								中学部				高等部				合 計
														普通科				
区分		1年	2	3	4	5	6	計	1年	2	3	計	1年	2	3	計	計	
3月15日	児童	単一	2	4	1	2	0	0	9	4	6	2	12	21	22	17	60	81
		重複	3	2	2	4	4	3	18	6	3	7	16	9	7	9	25	59
	分轄	4	2	3	3	3	5	20	1	2	6	9					29	
	計	9	8	6	9	7	8	47	11	11	15	37	30	29	26	85	169	

オ 本校の被害状況

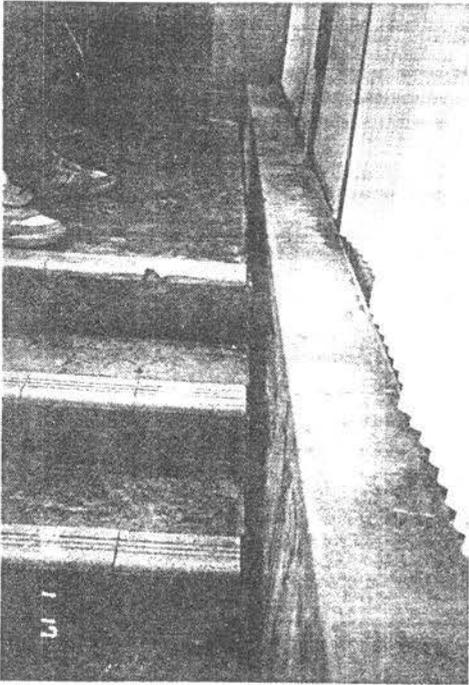
校舎内被災状況 (1995.1.17)

1	保健室前廊下	隙間あり
2	2-4	ヒーターの水漏れ
3	1-4	テレビ落下
4	階段(1階)	壁ひび割れ
5	美術室	壁ひび割れ
6	第一養訓室前	しきり板 30cm離れる
7	木工室	施盤、研磨盤が落下
8	相談室	書棚1箱横転、机に穴が開く
9	会議室	桁と天井間のひび割れ(小)
10	3-1	窓ガラス破損
11	スロープ上	廊下ひび割れ
12	スロープ	しきり板が落下
13	中学部トイレ	洗面壁板傾く、隙間あり、天井うく
14	プレイルーム2階	電気カバー傾く
15	小1組	壁面ひび割れ
16	小2組	壁面ひび割れ、天井一部ひび割れ
17	小3組	壁面ひび割れ
18	小4組	壁面ひび割れ
19	小5組	壁面ひび割れ
20	小6組	換気扇が壁からずれる
21	造形室	壁面ひび割れ大きい
22	1階トイレ(小学部横)	入り口、廊下側壁面ひび割れ
23	1階トイレ(小2組と1組間)	便器付近ひび割れ大
24	1階トイレ(小3組横)	便器付近ひび割れ
25	らせん階段横	ひび割れ
26	1階プレイルーム	柱、中央アーチ、壁ひび割れ大
27	2階教材室	扉開閉しにくい
28	2階しきり	壁ひび割れ
29	男女更衣室	入り口建具ずれる
30	2階トイレ(調理室前)	ひび割れ
31	体育館	壁の一部落下
32	1階事務室前	天井ステンレス板落下

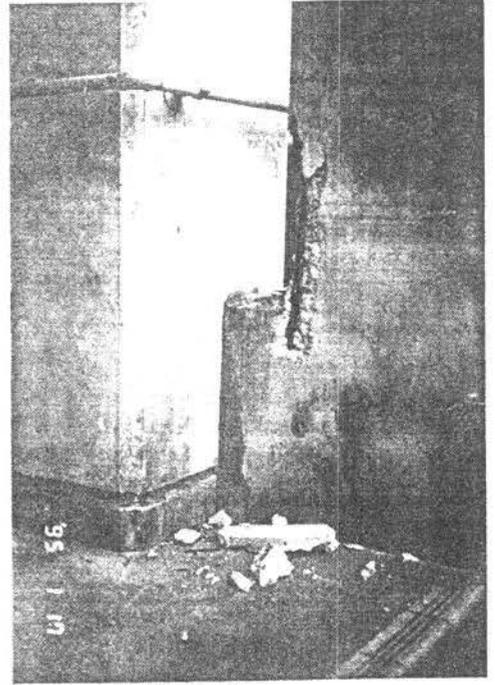
校舎外被災状況

1	芝生の囲い	分離、ひび割れ
2	職員室横壁	ひび割れ
3	職員室横地面	ひび割れ
4	焼却炉	エントツ破折 ひび割れ
5	D棟端横	ひび割れ
6	沈殿池石垣	ひび割れ
7	工事用トイレ	水漏れ
8	B棟端地面	地割れ
9	スロープ壁	ひび割れ、隙間あり
10	小、中出入り口	ひび割れ
11	中庭花壇	ひび割れ、隙間あり
12	職員入り口	レンガひび割れ
13	プールの側面	回りがひび割れ大
14	プール側、底	1面が10cmと7cm傾斜
15	運動場…	ひび割れ
16	運動場小屋	屋根一部破損

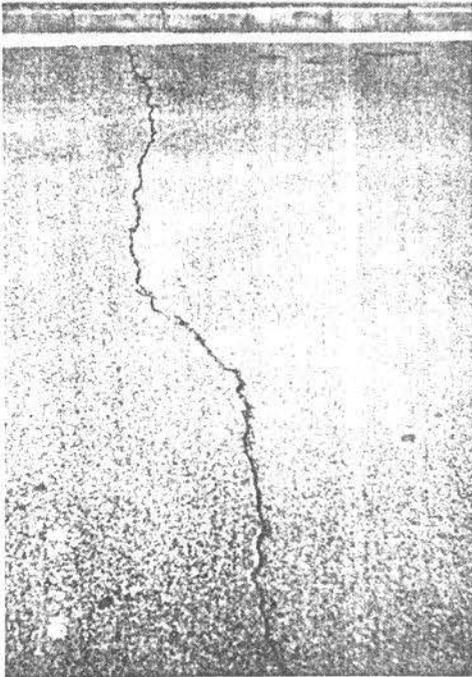
写真で見る本校の被害状況



陶芸室の裏口の階段に生じた隙間



校舎外壁の剥がれ落ちたところ

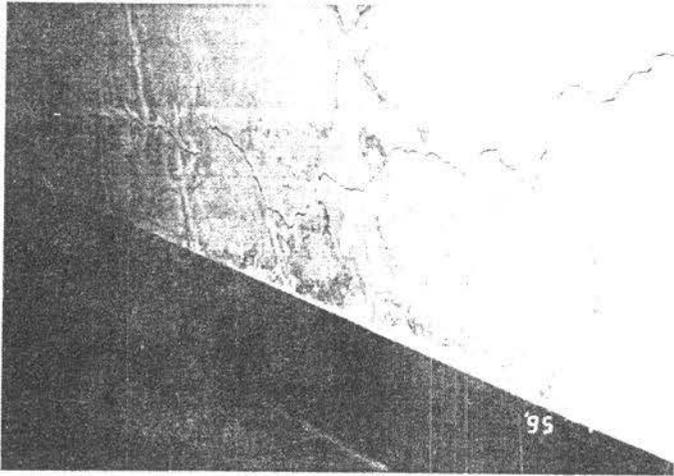


(車道)



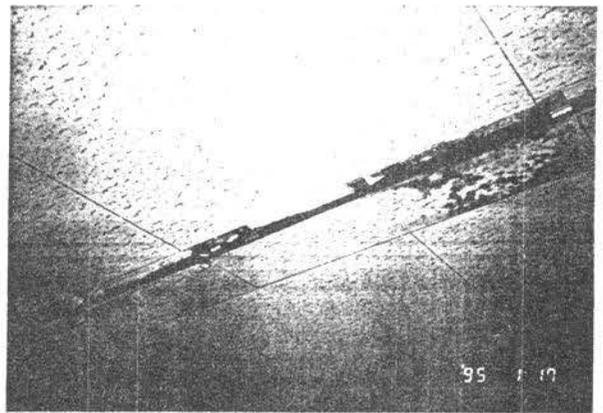
(歩道)

校門よりのスロープに生じたひび割れ



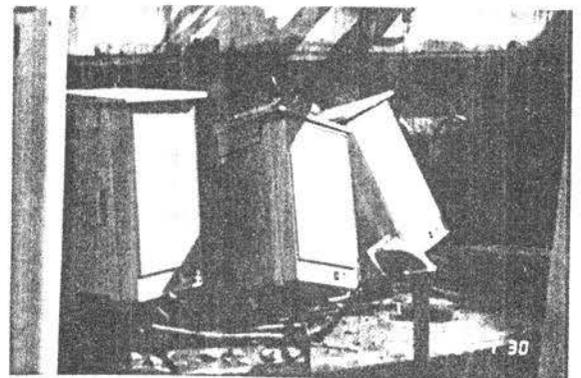
校舎の壁に生じたひび割れ
このようなひび割れが無数
にできた。

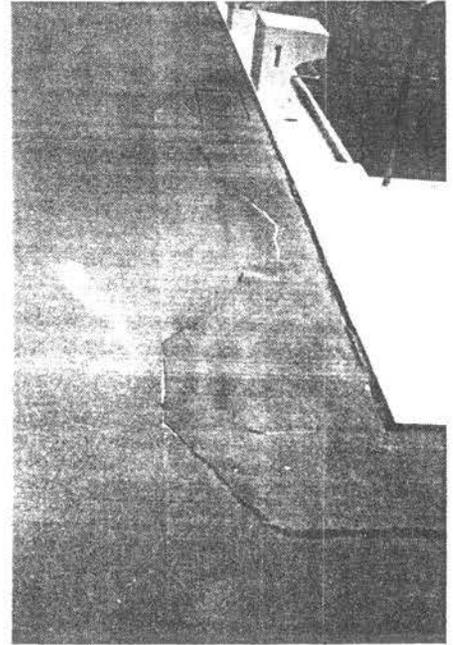
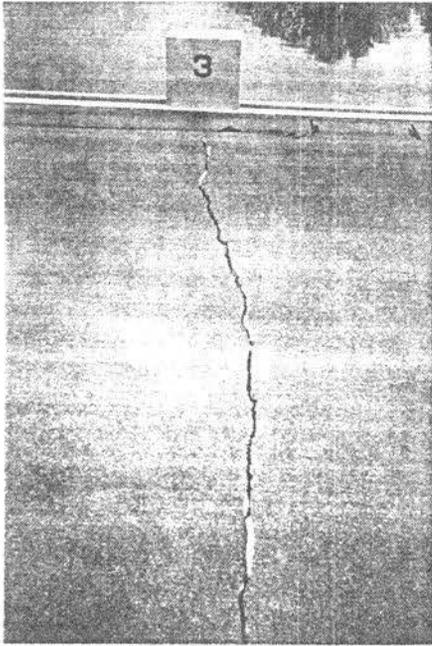
棟と棟をつなぐ天井のつな
ぎ目の金属性エクспанが
落下した跡



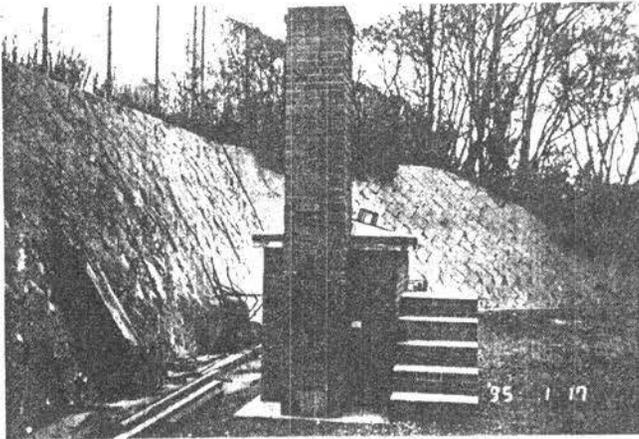
体育館のステージに内壁の
大きなコンクリートの固ま
りが落下していた。

高架水槽の電磁盤の破損



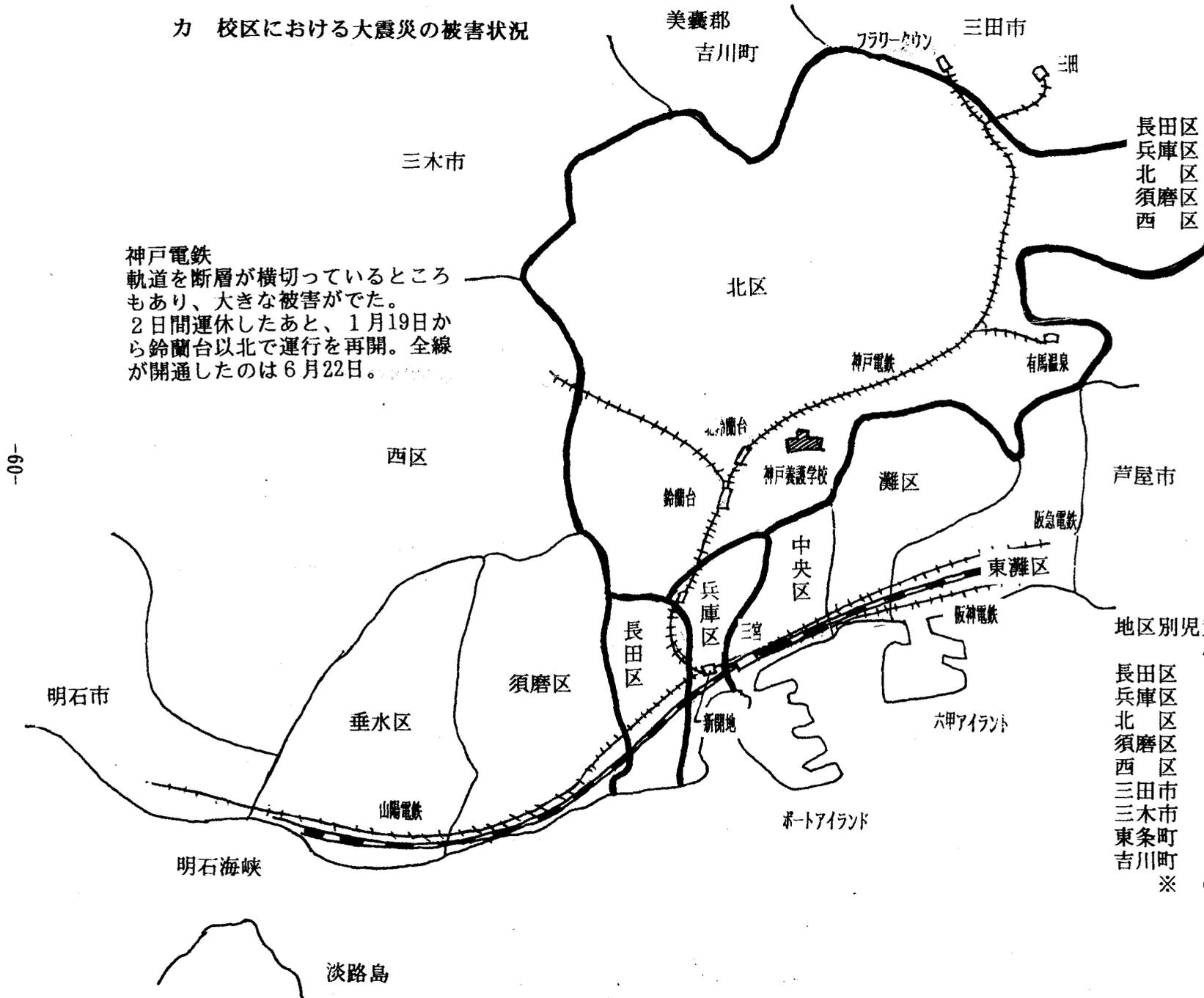


プールサイドにできたひび割れ



焼却炉の煙突にひびが入り
余震でいつ倒れるかもわ
からない状態になった。

カ 校区における大震災の被害状況



死亡者数	全壊家屋数
735名	12515家屋
419名	8374家屋
1名	117家屋
340名	6042家屋
2名	0家屋

地区別児童生徒数(平成6年5月1日現在)

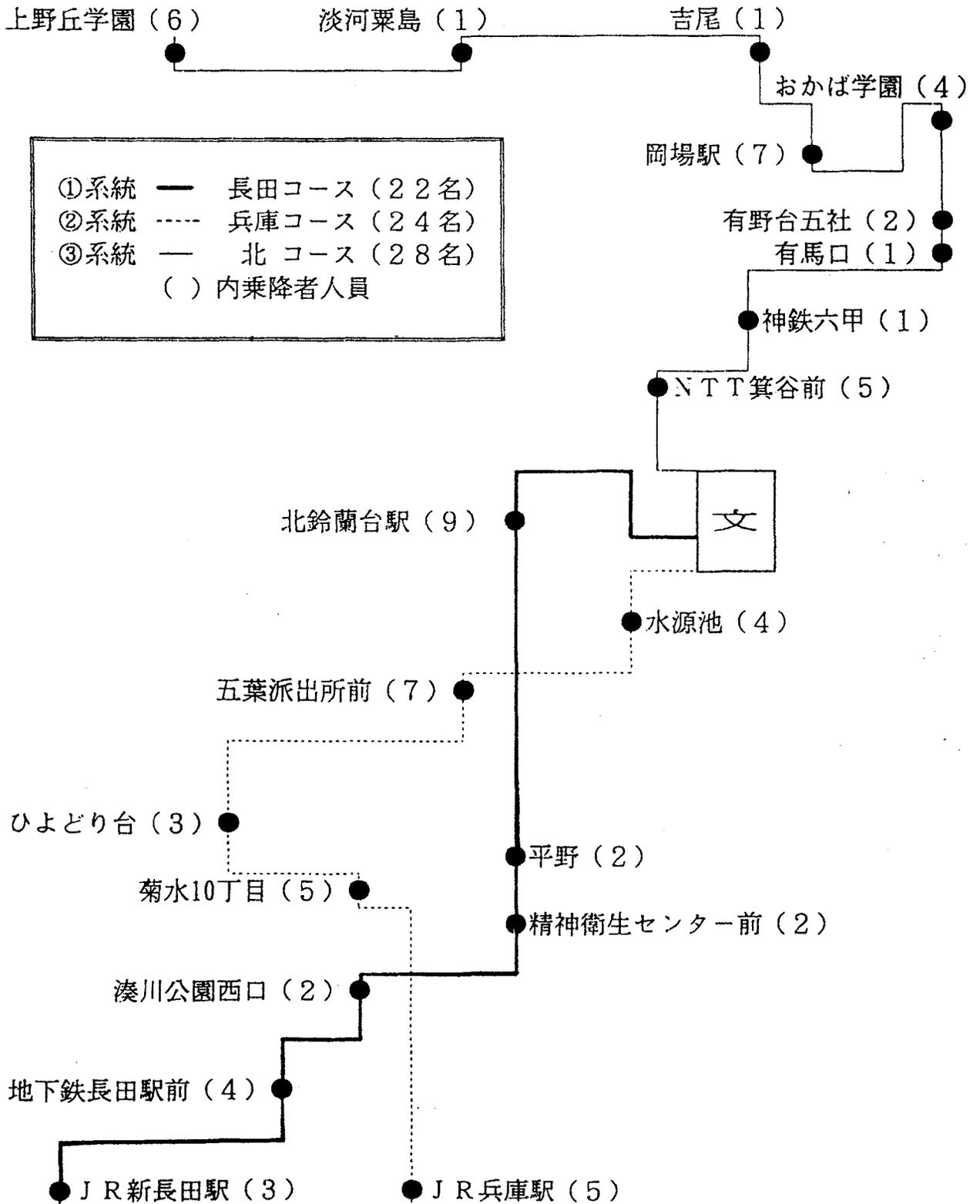
	小学部	中学部	高等部
長田区	5名	2名	7名
兵庫区	3名	9名	18名
北区	19名	18名	45名
須磨区	1名	—	—
西区	17名	6名	—
三田市	1名	—	8名
三木市	—	—	4名
東条町	—	—	1名
吉川町	—	—	2名

※ (西区の児童生徒は、さわりび教室)

キ 震災後のスクールバス運行

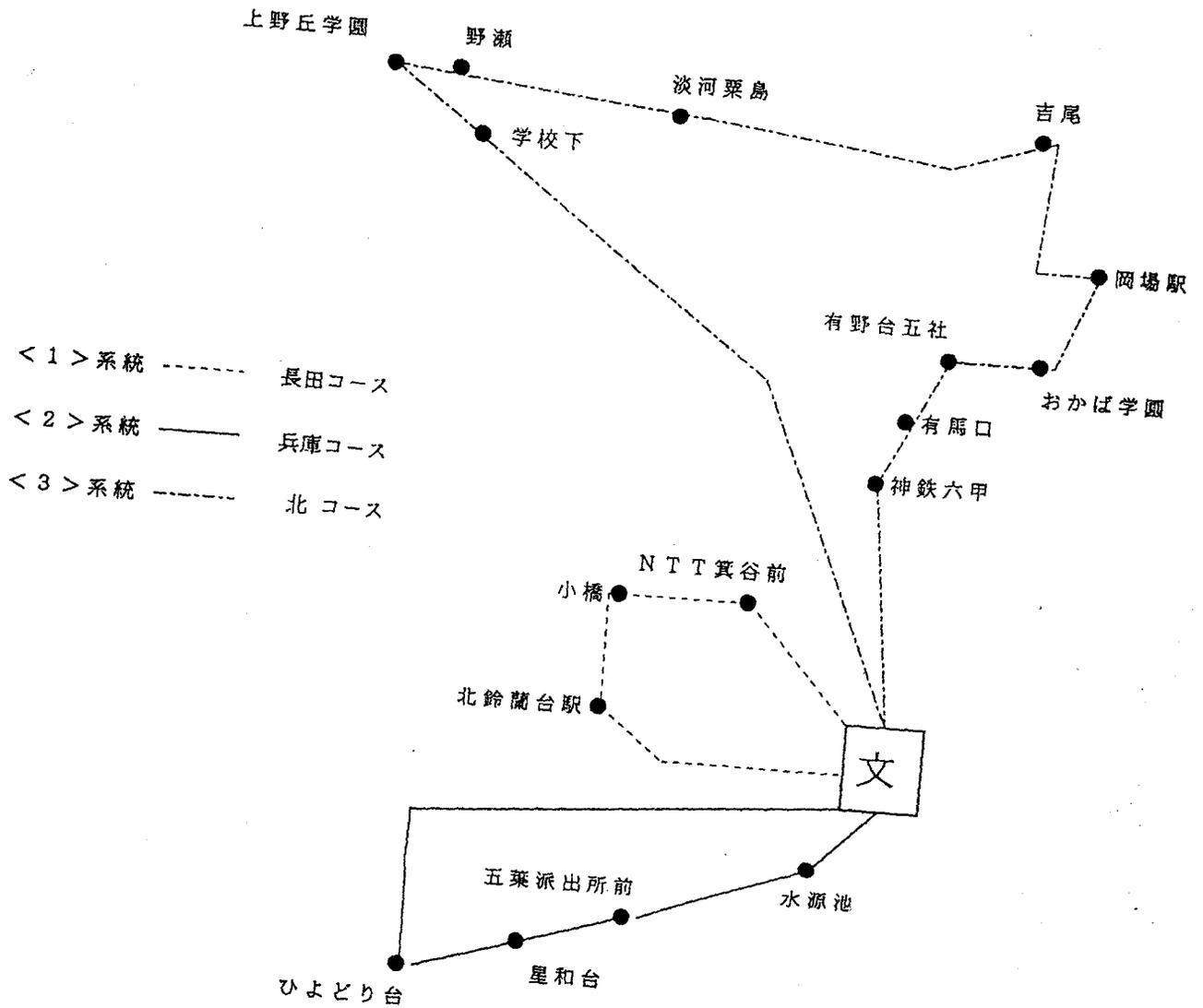
平成六年度 スクールバス運行系統図

(震災前)



(学校再開時)

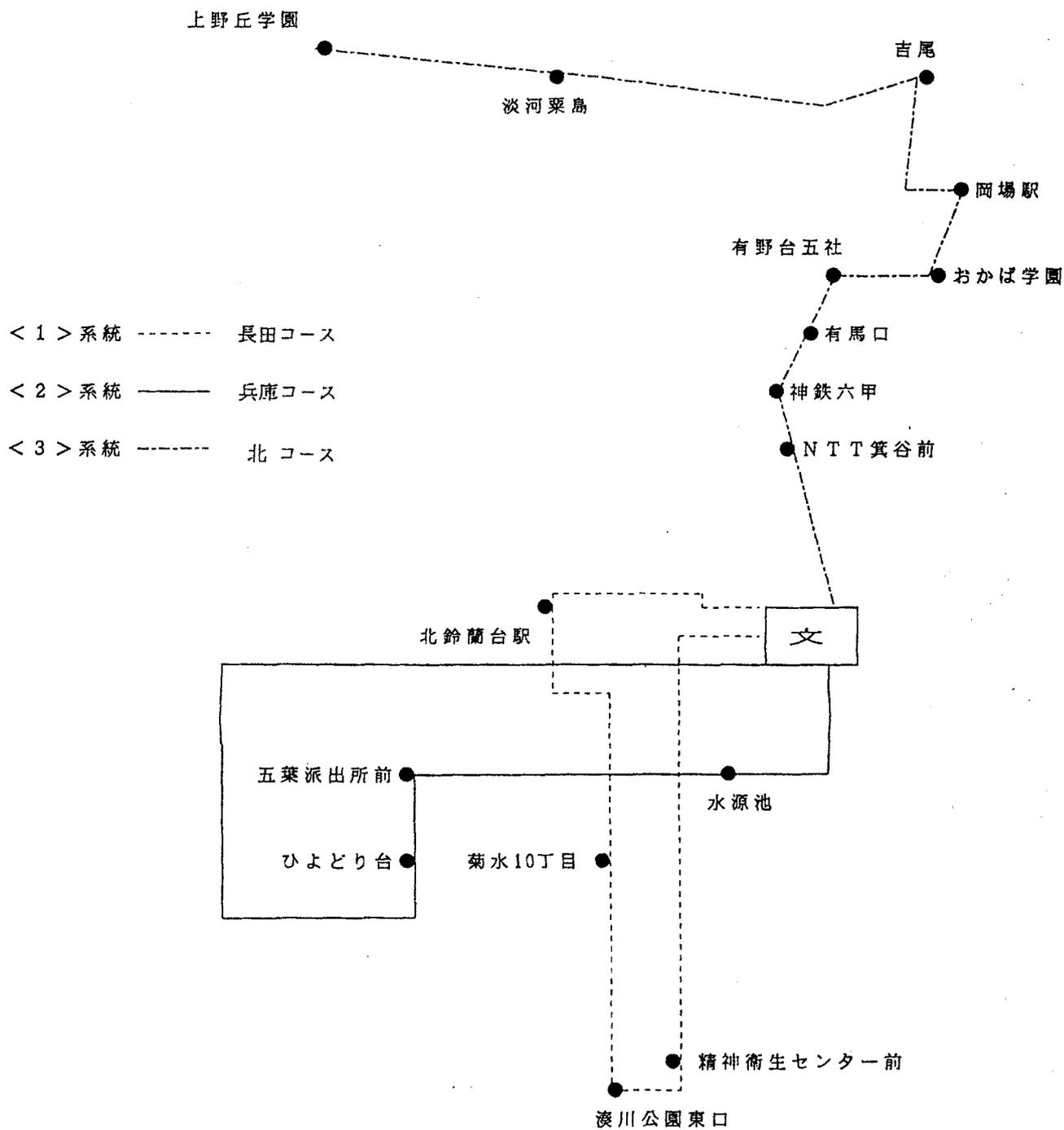
スクールバス運行系統図



平成7年2月2日現在

(震災1ヶ月後)

スクールバス運行系統図



平成7年2月17日現在

ク 全国からの支援

1995 阪神大震災支援受け入れ状況一覧表

兵庫県立神戸養護学校

NO	日付	学 校 名	NO	日付	学 校 名
1	1/27	京都府立宇治市立木幡中学校	15	2/21	埼玉県立大宮北養護学校
2	2/ 2	香川県立香川中部養護学校A2A	16	2/23	東京都立立川養護学校
3	"	東京都立七生洋画学校(中3A)	17	"	長野県立諏訪養護学校
4	2/10	高松市立川添小学校	18	"	栃木県立栃木養護学校
5	2/ 7	京都府立与謝の海養護学校	19	2/27	香川県立香川丸亀養護学校
6	2/14	神戸市立桜の宮中学校	20	"	滋賀県立草津養護学校
7	2/16	東京都立しいの木養護学校	21	3/ 3	東京都立葛飾養護学校
8	2/18	熊本県立黒石原養護学校	22	3/13	東京都立青烏養護学校
9	"	熊本市立城北小学校(3年3組)	23	3/16	新潟県立高田養護学校
10	"	熊本県熊本市立高等学校	24	3/17	東京都立白河養護学校
11	"	熊本県教育委員会指導部	25	"	東京都立中野養護学校
12	"	東京都立墨田養護学校	26	2/20	大阪市立住之江養護学校
13	"	愛知県立豊川養護学校職員一同	27	2/20	兵庫県立神戸養護学校PTA
14	"	愛知県立豊川養護学校生徒会			

府県別一覧表

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ① 愛知県 ⇒ 2 | ② 京都府 ⇒ 2 | ③ 熊本県 ⇒ 4 | ④ 香川県 ⇒ 3 |
| ⑤ 埼玉県 ⇒ 1 | ⑥ 滋賀県 ⇒ 1 | ⑦ 新潟県 ⇒ 1 | ⑧ 大阪 ⇒ 1 |
| ⑨ 長野県 ⇒ 1 | ⑩ 東京都 ⇒ 8 | ⑪ 栃木県 ⇒ 1 | ⑫ 市内 ⇒ 2 |

主な支援内容

- | | |
|-----------------------|-----|
| ① 文集・絵・写真・折り紙・手紙による激励 | 22件 |
| ② タオル・ノートなどによる物資 | 6件 |
| ③ 義援金 | 8件 |

校内支援活動について (義援金の募集によって)

- ・被災児童生徒への不足物資の供給と援助活動

1995年1月17日 阪神・淡路大震災 見舞い手紙文

京都府立与謝の海養護学校 高等部学習 8グループ A・S

地震のひがいにあわれたみなさん、がんばっていますか。わたしはニュースをみて可愛そうだと思いました。

わたしは、はげましの手紙やペットボトルに水を入れておくろうと思っています。わたしは京都北部の丹後町にすんでいます。1月17日の朝はこちらも地震がありましたが、ねていてしらなくて人に聞きました。みなさんも大変ですけどがんばってください。

京都府立与謝の海養護学校 高等部学習 8グループ A・H

養護学校のみなさんへ

地震のひがいにあわれた みなさんががんばっていますか。

ぼくはニュースをみて町がかんぜんになくなったような町になってしまってかわいそうだと思いました。

ぼくは京都府舞鶴に住んでいます。一月一七日には神戸ほうが地震ひどかったのだけけどテレビ見 こんなに町くずれてしまったとは みなさんは家もなくなってしまってひどいひがいだと思いぼくらの学校も神戸のほうがひどいので ほんとなにもできませんけど みんなもげんきをだして すこしでも早く神戸の町がもどってくるのをねがっています。

東京都立中野養護学校 高等部 生徒会 O・R

こうべのみなさん大丈夫ですか。私たち 東京の中野養護学校は こうべの人たちに手紙を出すことになりました。私たちが出来ることは、手紙を出すことしかできませんが手紙や絵にして元気になってもらおうとみんなで書きました。

元気になってください。

立川養護学校 生徒会会長 I・K

副会長 S・T N・Y

神戸養護学校の皆さん お元気ですか

この間の地震で大勢の人達が亡くなったり、けがをしたりして大変だったでしょう。

私達は、今度 文房具を送る事にしました。

それは 一生懸命勉強してほしいからです。これからも まだ 寒い日が続きますが健康に気を付けて頑張ってください。そして一日も早く もとの生活に戻れることを祈っています。

阪神大震災で 被害にあった人たちへ

ぼくは、地しんのニューステレビとニュースしんぶんで、こうえん・どうろや、ホテルも、家やせんぶかんけいなくつぶれて、アパートやマンションやビルとかもほとんどくずれて、道もあとかたもなく、電気も、みなおっこちてきて、自動ハンバイキもこなごなにこわれて、そして、こうしゅう電話ボックスもみんなベッタコになってとちがないからほんとにかわいそうだとおもいました。

五千人しほうとゆうことは、五千人の中のあと五千人で、一万人ちかくまでしほうしたとゆうことは、大なひがいで もともこうもかわいそうだとおもいました。

けが人しゃが二万人だなんてしんじられないこととして よっほどかわいそうだとおもいました。

アンテナも でんしんばしらも 電車もせんろもかわいそうだとおもいました。

しいの木養護学校 高等部3年生 寄せ書き

M・Y

神戸養護学校のみなさん地震があつてたいへんです。でも、しいの木養護学校のみなさんが応援しています。

T・I

神戸養護学校のみなさんじしんでたくさんのひがいにあつてますが、からだにきをつけてがんばってください。早くふっきゆうしてきれいな町作りにしてください。

H・T

神戸養護学校のみなさん こんにちは、僕たちは、千葉県しいの木養護学校の生徒です。今回の地震は大変でしたね。家や食品にこまる人が多いと思います。僕たちに協力できる事があれば 協力します。こまった時はおたがいさまです。

地震に負けないで がんばってください。しいの木養護学校のみなさんで応援しています。

H・S

かせをひかないようきをつけて頑張ってください。私も神戸養護学校のみなさんのことおうえんしています。

K・K

1月17日に大きなじしんがあつてたいへんでしたね。

僕もTVを見た時はビックリしました。それでおもわず涙が出てしまいました。

これからも頑張ってくださいね。

他 5名

平成7年7月14日

保護者 様

兵庫県立神戸養護学校
校長 梶田 源一郎

大震災後の生活調査について

このたびの阪神・淡路大震災により、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

本校でもご存じのとおり、兵庫、長田地区をはじめとして、甚大な被害が児童生徒とご家族、および職員に及びました。この悪夢のような大震災から6カ月になろうとしています。

震災の翌日には児童生徒の安否を確認することができましたが、この震災が登校時や授業中に起きていたらと思うと心凍るおもいがします。震災後、学校では救援体制を整えるとともに家庭訪問、地域臨時教室の開設、学校再開へと努力してまいりました。

さて、学校では未曾有の災害ではありましたが、この経験から学び、今後の学校における危機管理や防災体制の整備を進めていこうとしています。そのために、学校にある記録だけでなく、児童生徒の実態や家庭の実情も加味し、よりよい体制ができたかと考えています。

いまだ普通の生活に戻られていないご家庭もあり、心の傷も癒えないかとは存じますが、趣旨をご理解いただき、この調査にご協力くださいますようお願い致します。

おそれいりますが、調査用紙は7月18日までに担任に提出してください。

なお、お子様のことで気になることがありましたら、何時でもご相談ください。

調 査 用 紙

小・中・高等部	氏名
地震のときのお子さんは？（あてはまる番号を○印でかこんでください）	
1 ぐっすり眠っていた	
2 地震で起きた（どんな様子でしたか）	
3 起きていた（どんな様子でしたか）	
4 その他	
5 地震のとき、どうされましたか（例 子どもをすぐ起こし、おんぶして外へつれだした）	

震災後、学校再開までに2週間かかりました。そのことについてお伺いします		
1 早く学校が再開してほしかった	はい	いいえ
2 だれかに子どもをみてほしいと思った	はい	いいえ
3 学校の休みの間に、家庭訪問を受けましたか。	はい（ 回）	いいえ
4 困ったことがあったとき、学校に相談しましたか。	はい	いいえ
5 何時も飲んでいる薬が手に入りましたか	はい	いいえ
6 困ったこと、どういう援助が必要だったかなどありましたらご記入ください		

以下の項目について、震災直後と現在の様子で、あてはまるところに○をつけて下さい。
あてはまらないところには記入していただくなくて結構です。

項目	直後	現在	項目	直後	現在
1 食欲がない			21 甘えてくる		
2 食べ物の好みが変わった			22 よくおびえる		
3 食べ過ぎる			23 前にできていたことができなくなった		
4 落ち着きがない			24 親から離れられない		
5 おしゃべりである			25 たびたび発熱する		
6 用心深い			26 よく吐き気を訴える		
7 イライラする			27 疲れやすい		
8 はしゃぎ過ぎる			28 よく腹痛や頭痛を訴える		
9 よく泣く			29 夢にうなされる		
10 いい子すぎる			30 指吸い、爪かみをするようになった		
11 表情がなくなった			31 一人で寝なくなった		
12 気を引く行動が多い			32 夜泣きをするようになった		
13 怒りっぽい			33 おねしょをするようになった		
14 一人でいたがる			34 よくトイレに行くようになった		
15 赤ちゃんがえり			35 寝つきが悪くなった		
16 これまでの遊びをしなくなった			36 同じ遊びをくりかえす		
17 言うことをきかない			37 目をパチパチとか首を動かしたりする		
18 ボーとすることがある			38 突然大声をあげる		
19 じっとしていることが多い			39 シャベらなくなった(声をださなくなった)		
20 地震のことをよく話す			40 自分の身体を傷つける		

41 発作を持っている人におたずねします・発作がふえましたか

- a かわらない
- b 発作の回数が増えた
- c 発作の回数はあまりかわらないが、様子が変わった
- d 発作の回数が増え、発作の様子も変わった
- e その他（

ご協力ありがとうございました。

先生がたへ

防災教育に関する研究グループ
代表 村上 球男

今回の震災に関して児童生徒の実態をつかむために、保護者に簡単な調査をおねがひしています。それとは別に、先生方からも児童生徒の状況を把握している範囲で調査したいと考えています。学期末の忙しい時期ですが、ご協力のほどよろしくお願いします。

氏名		保護者氏名	
現住所		被災前住所	

1 震災の被害	a 全壊 b 半壊 c 一部損壊 c 家具等か散乱 d 被害無し e その他 ()
2 家族の安否	a けがをした (だれ) b 亡くなった (だれ) c 被害はなかった
3 避難生活	a 避難所で約 日 b その他で約 日 ・ 知人宅 ・ その他 () c しなかった
4 現在の住居	a 自宅 b 避難所 c 仮設住宅 d 親戚宅へ同居 e 疎開して来た別の家族が同居

この子どもについておたずねします。

5 地震直後の子どもの様子はどうでしたか

6 地震直後の保護者（家族）の様子はどうでしたか

7 学校に出てきたときの様子はどうでしたか

8 現在、地震の影響を受けていると思われませんか。影響を受けていると思われるのは

家庭訪問や地域臨時教室（学校含む）における印象深い出来事等について、おしらせ
ください。

本校の防災体制を考えると、広く職員の考えや意見を伺って、あらゆる視点から考察
していきたいと考えています。

そこで、今回の震災に関する忌憚のない意見や提言をハード面、ソフト面いずれでも
結構ですので、お願いします。

8 現在、地震の影響を受けていると思われますか。影響を受けていると思われるのはどん
なところですか。影響を受けていないと思われるのはなぜですか。

うけている うけていない わからない （どれかを○でかこんでその理由を書いてください）

防災マニュアルの作成に関するアンケート

兵庫県立神戸養護学校
防災教育に関する研究グループ

所属に○印をつけてください【1小、2中、3高、4分教室、5養護教諭、6特別支援】

今回の大震災が、もし児童生徒が登校している（学校管理下にある）場合、私たちはどう対処すればよいでしょうか

1 校内で授業中の場合

(1) 避難方法

・まず第一にすることは

・次にすることは

(2) 保護者との連絡方法（電話連絡ができない場合）をどうすればよいでしょうか

(3) 児童生徒の下校方法について（交通機関が止まっている場合）どうすればよいでしょうか

2 教室等の施設・設備で日常的に配慮しておかなければならない事（所）は何でしょうか

3 徒歩訓練や遠足等の場合、出発までにあらかじめ考えておかなければならないことは何でしょうか

引率している児童生徒の安全のためにしなければならないことは何でしょうか

4 修学旅行やキャンプならばどうしなければならないでしょうか

5 通学途上の場合

(1) スクールバスの場合はどうしなければならないでしょうか

(2) 自力通学（電車・バス・徒歩）の場合はどうしなければならないでしょうか

6 もし、2～3日学校で待機(宿泊)するとして、何を準備しておかなければならないでしょうか

(1) どういう仕組みを考えておかなければならないでしょうか

(2) 物資については

(3) 場所はどこがいいでしょうか

(4) その他

- 7 今回のような震災に備え、児童生徒の家庭と確認しておかねばならないこと（すべきこと）があればお書きください

学校が地域の避難所となった場合、私たちはどう対処すればよいでしょうか

- 1 児童生徒が登校している（学校管理下にある）場合
- ・ 避難者への対処はどうすればよいでしょうか

- 2 児童生徒が登校・下校中の場合
- ・ 避難者への対処はどうすればよいでしょうか

- 3 児童生徒が登校していない、今回のような場合
- ・ 避難者への対処はどうすればよいでしょうか

- 4 避難所として何を準備しておかなければならないでしょうか
- (1) 物資について（何を、どのくらい、どこに）

- (2) 受け入れ体制について、どんな組織や活動が必要でしょうか

- 5 その他、考えておかねばならないことがあればお書き下さい

お わ り に

平成7年1月17日の阪神淡路大震災から1年がすぎました。神戸の街は復興に向けてあちこちで建設の槌音がしていますが、本校の校区であります兵庫区、長田区には更地が目立ち町並みが消え、その傷跡の大きさを物語っています。そして、子ども達は一見元気そうに登校してきていますが、見えない心の傷を背負っています。

ところで、喉元すぎれば熱さを忘れると言うか、まだショックから立ち上がっていないせいか、まだまだ防災に関して色々な面で未整備の状態です。もう起こり得ないと楽観視しているのかもしれませんが、しかし、この貴重な体験を私たちは決して忘却の彼方へ押しやることができません。

震災の体験談はあちらこちらで本として発行され、色々な立場の記録が残されてきています。しかしそれらの多くは健常者の主体のものです。私たち養護学校の職員として、十分に自分の気持ちを文章や言葉に表せない知的障害の子ども達の震災の影響や今後の防災教育のあり方を検討することが責務と考え、この研究に取り組みました。

研究グループのメンバーは多忙な校務の間をぬって、研究・研修・協議を重ね、ここにこの冊子を発行することができました。関東・東海地区の防災に関する資料を参考に、より実現性の高いマニュアルも作成することができました。限られた時間で十分に考察できていない面があるかもしれませんが、この成果を今後の学校運営に反映し、万が一に備えていきたいと存じます。

ここにこの研究の機会を与えて下さった兵庫県教育委員会に感謝申し上げますと共に、研究のために資料提供や助言等を賜りました静岡県教育委員会をはじめとした関係諸機関、各養護学校、児童相談所及び育成会等の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成7年度 教育研究グループ

防災教育に関する研究
(知的障害児に対する防災教育の課題)

研究職員一覧

(教諭)

◎村上 球男

岸野 博之

喜田 修己

河辺 京子

中村 佳子

藤本 直美

長谷川 進

芝原 隆一

(平成7年9月30日退職)

畑古 洋子

(養護教諭)

小林 朋恵